

W e l c o m e t o O S A K A

ようこそ **OSAKA** へ

帰国・渡日児童生徒の受入マニュアル



大阪府教育委員会

## はじめに

外国人児童生徒への教育については、これまでわが国では、国際人権規約等を踏まえ、義務教育の就学年齢にある外国人児童生徒が公立の小学校、中学校への就学を希望する場合には、無償で受け入れるとともに、学校においては日本語指導や適応指導などの必要な支援を行うこと等により、外国人児童生徒の教育を受ける権利を保障しております。

近年、国際化の進展や社会のグローバル化等により、渡日する外国人の増加に伴い、帰国・渡日児童生徒も増加してきており、支援言語の多言語化、居住地域の分散化といった問題が生じています。

このため、本府においては、平成21年1月に策定した「大阪の教育力」向上プランに基づき、帰国・渡日児童生徒の受入れ体制の整備や日本語指導、教科学習指導、進路指導等の学校生活の支援を図ることとしております。

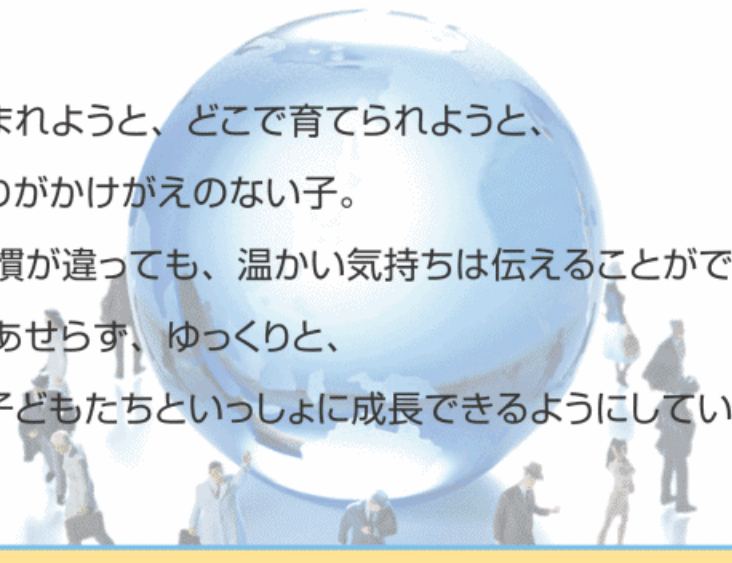
一方、学校では、帰国・渡日児童生徒の突然の入学や編入により、受入れ体制や方法等が分からないというのが実情であり、そのような状況に対応できるよう、受入れ前から準備しておく必要があります。

本マニュアルは、このようなことを踏まえ、受入経験のない学校でも、まず何をすべきかすぐに分かるように、できるだけポイントを絞り、具体的かつ簡潔にまとめました。また別冊として「チェックシート」や「個人カード」を付けて実践的にも活用できるよう工夫しました。

帰国・渡日児童生徒に関わる教職員の皆様におかれましては、この冊子を大いに参考にさせていただき、学校生活における支援の充実を図るとともに、受入れる学校におかれましては、受入れを機に他の児童生徒に対し、異文化を理解し、違いを豊かさに、互いに認め合い、共に生きていこうとする気持ちを育むよう願っています。

大阪府教育委員会市町村教育室 児童生徒支援課





どこで生まれようと、どこで育てられようと、  
一人ひとりがかかけがえのない子。  
言葉や習慣が違って、温かい気持ちは伝えることができる。  
急がず、あせらず、ゆっくりと、  
まわりの子どもたちといっしょに成長できるようにしていきましょう。

### ● 文化が違うということを認識しましょう

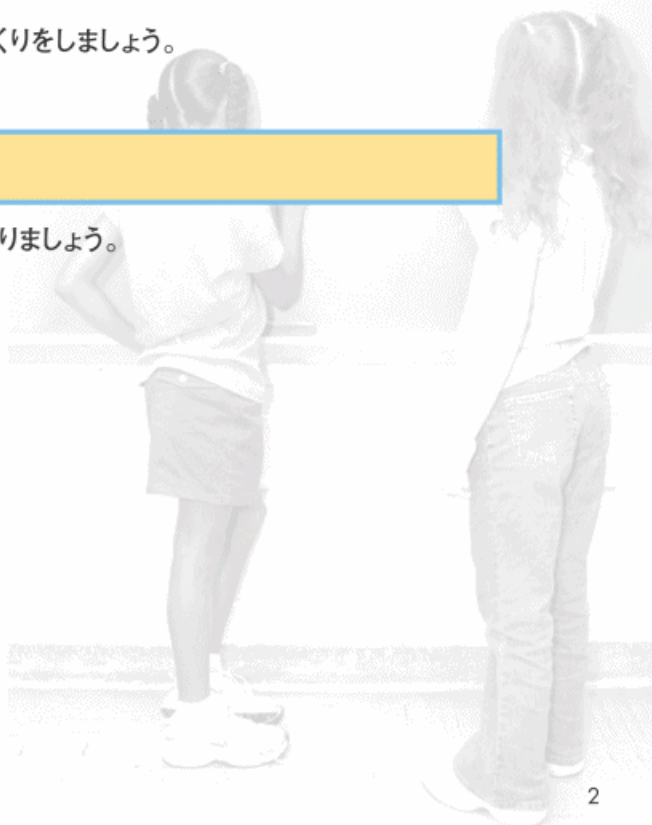
- 帰国・渡日児童生徒は日本とは違う言語、文化の中で育ってきていることを理解しましょう。
- 異文化に興味・関心を持ち、違いを認め合うと同時に、互いの共通点に気づき、理解・尊重しあえる学校づくり、学級づくりを行きましょう。

### ● 言葉や文化の違いを豊かさに変えていくという観点をもちましょう

- 帰国・渡日児童生徒の母国の文化や習慣の違いを認識し、共有しましょう。
- 帰国・渡日児童生徒の文化・言葉を、学習などに取り入れる工夫をしましょう。
- 日本語の理解が困難な児童生徒というマイナス思考ではなく、外国語の話せる児童生徒というプラス認識を持ちましょう。
- 日本の学校文化を押しつけるのではなく、共に生きる環境づくりをしましょう。

### ● 教育委員会と連携しましょう

- 受入れをより円滑にすすめるため、教育委員会との連携を図りましょう。



### 学校全体で受入体制をつくりましょう

- 帰国・渡日児童生徒の受入れは、指導を直接担当する教員だけでは円滑に対応できません。学校全体で次の視点から受入れ体制を作りましょう。

### 受入れ及び指導について教職員全員で共通理解しましょう

- 職員会議、生徒指導委員会、人権委員会、校内研修、担当者会議などを通じて共通理解しましょう。
- 日本語指導担当を位置づけ、学校全体で受け入れる体制をつくりましょう。

### 児童生徒や保護者が困ったときに気軽に相談できる機会をつくりましょう

- 保護者との定期的な情報交換、情報提供など（家庭訪問、連絡ノート、電話など）を行いましょ。
- 地域の国際交流関係機関やボランティアなどを保護者に紹介しましょ。

### わかりやすい日本語や母語で伝える工夫をしましょ。

- 学校からのお知らせ（配布物）は翻訳をするか、わかりやすい日本語に書き換えたり、ルビを振るなど工夫しましょ。多くの情報を一度に伝えることは返って混乱を招く恐れがあるので、ポイントを絞って必要最小限にしましょ。
- 校内の施設や注意などの表示には多言語表記やルビを振るようにならせ。

### 保護者も含めた受入れ体制をつくりましょう

- 保護者向けの研修会など異文化理解のための講座開催などを紹介しましょ。
- 帰国・渡日児童生徒や保護者どうしのネットワークづくり（イベント・国際理解講座など）を進めましょ。
- 保護者に学校の様子を把握していただくため、受入れ初日や機会を見つけて来校を促しましょ。

### 児童生徒一人ひとりに応じた指導体制や指導内容を工夫しましょ。

- 「抽出指導」「入り込み指導」などの指導体制を工夫してみましょ。
- 放課後の補習指導や児童生徒に合った教材を用意するなど、受入れの学習環境を整えるようにならせ。
- 教育サポーターや地域のボランティアに、学習指導、通訳等の支援の協力をお願いしましょ。

### 高校や大学研究機関等と連携しましょ。

- 近隣の小・中学校や高校と意見交換や情報交換などをしましょ。
- 地域の日本語教室、国際交流協会、大学等との情報交換などをしましょ。

## チームとして動きましょう —それぞれの役割を確認しましょう—

### 校長・教頭



- 教職員の共通理解の場をつくりましょう。
- 教育委員会や関係機関等と連携しましょう。  
(通訳、教育サポーターの派遣申請など)
- 近隣の学校と連携しましょう。

### 職員全体



- 全教職員で児童生徒を見守り、話しかけるなど、教科指導やクラブ活動など様々な場面からのサポートをしましょう。
- 配布物などに多言語表記やルビ打ちを心がけましょう。
- 授業や学校生活全般の状況についての情報収集に努めましょう。
- 学級担任と緊密に連絡をとるようにしましょう。
- 母語での掲示物を作成したり、母語での挨拶を事前に調べるなど、相手にわかる形で歓迎する雰囲気をつくりましょう。

#### 特に日本語指導では

- 基本的な日本語指導ができる体制をつくりましょう。
- 学習用語などの母語訳・辞書を用意しましょう。
- 日本語指導教材や対訳教材の準備をしましょう。
- 日本語能力を把握し、指導カリキュラムを作成しましょう。



### 学級担任



- 同じクラスの児童生徒に仲間が増えた喜びを話しましょう。
- 友だちづくりや学校生活に気を配りましょう。
- 学校やクラスの様子など積極的に当該児童生徒の保護者に伝えましょう。
- 行事の前には、その内容の説明や持ち物の確認をていねいにしましょう。

## \* 出会いを大切に～最初の面接

- 初めての日本の学校なので、児童生徒も保護者もとても緊張しています。
- 母語の挨拶を調べておいて、明るく微笑みながらゆったりと話しかけるなど緊張をほぐす工夫をしましょう。

### 笑顔で話しかけましょう

<p>ようこそ はじめまして</p> <p>日本語</p>	<p>欢迎! ホアンイン 初次见面很高兴! チュウツウ チェンミンヘンガオシン</p> <p>中国語</p>	<p>어서 오세요. オソオ セヨ. 처음뵙겠습니다. チョウム ベッケスムニダ.</p> <p>韓国・朝鮮語</p>	<p>Hoan nghênh! ホアン ゲン! Rất vui được gặp bạn. ザッヴーイ ドウオク ガップバン</p> <p>ベトナム語</p>
-----------------------------------	--	---	---

(フィリピン語) Pagbati Nalulugod ako na makilala kayo. バグバティ ナルゴッド アコ ナ マキララ カヨ  
 (ポルトガル語) Seja bem vindo! Muito prazer! セージャ ベンヴィンド ムイット プラゼール  
 (スペイン語) Bienvenido. Mucho gusto. ビエンベニード ムーチョグスト  
 (タイ語) ยินดีต้อนรับ ยินดีที่ได้รู้จัก インディートーンラブ インディーティーダイ ルーチャグ

### ていねいな面接を心がけましょう

- 初めて学校を訪れる日は、学校と児童生徒・保護者との信頼関係を築く出発点です。
- ゆっくり、はっきりとした日本語で、保護者に確認したいこと、伝えたいことを話し合ってください。通訳者をつけられればよりスムーズです。

**学校制度、学校生活習慣、通学、日課、時程、持ち物、掃除、給食・・・**

外国には無いきまり  
事があります。

外国では当たり前では  
ないことがあります。

どうしたら  
いいんだろう?

- 当該国の教育事情・習慣等を理解し、学校のことをていねいに説明しましょう。
- 別冊の「チェックシート」「個人カード」を活用し、聞き取りましょう。

- 校長・担任・学年の教員など複数で面接しましょう。
- 「多言語版 小学校入学準備ガイドブック」(大阪府)、「就学ガイドブック」(文部科学省)等を活用し、日本の学校制度、学校生活・習慣をていねいに説明しましょう(参考資料【4】【16】)。
- 学校生活で必要な持ち物の実物や絵などを用意しましょう(参考資料【2】)。
- 児童生徒のフルネーム、表記、発音を確認しましょう。  
※大阪府教育委員会では、各学校において、日本に住む外国人生徒が本名を使用することのできる環境づくりを積極的に進めています。



### 登校初日 —大切な出会いの日—



#### 温かく受入れてもらえているという気持ちを持たせましょう

- 全校集会、学年集会、朝のクラス会などで児童生徒本人を紹介する際に、できるだけ母語や母文化等についても紹介しましょう。
- 校舎内の案内をしましょう。(チェックシート「受入れ後一週間以内」参照)
- 集団登下校を行っている場合は、通学班を教えましょう。
- 体調が悪くなった場合の伝え方を教えましょう。
- 学校生活ですぐ必要な表現を教えましょう。  
例)「おなかがいい。」 「頭がいい。」 「トイレにいきたい。」



### 2日目以降 —学校生活のスムーズなスタートのために—



#### 当該児童生徒の不安を除き、学校が楽しいと思えるように工夫しましょう

- 翌日の予定と持ち物を伝えましょう。必要に応じて実物を見せるなど工夫しましょう。
- 座席は、学級担任の近くにしましょう。
- クラスの仲間や先生の名前を覚えられるような工夫をしましょう。
- 教科書の表紙に教科のローマ字や母語訳をつけましょう。  
(名前の記入は読み書きができるならば本人がします) また、時間割表の教科名にローマ字や母語訳をつけて渡しましょう。

#### 参考図書

- 「にほんごをまなぼう 教師用指導書」(文部科学省・ぎょうせい)
- 「旅の指さし会話帳」(情報センター出版局)
- 「ことばのえじてん」(小学館)

## 互いに認め合う集団づくりのために

● 多文化理解教育の絶好の機会と捉え、クラスみんなで取り組むことが大切です。

- 学校・学年で総合的な学習の時間での国際理解教育など発展的活動に結びつける計画をたてましょう。
- 身近な物や覚えてほしい物の名前にひらがなと母語で書いたカードを作って貼るなど、周りの児童生徒が手伝えることは積極的にさせましょう。
- 母語でのあいさつを教室などで使ってみましょう。

### 日本語指導と学習指導を充実

● 到達目標を考えた指導計画を立てましょう

#### 【留意点】

- 日本語指導については、やさしい日本語を使い、あるいは言い換えて、ゆっくり、はっきりと話し、実物や絵も使って説明しましょう。
- 当該児童生徒が理解しているように見えても、正確に理解ができていないことがよくあるのできめ細かく把握しましょう。
  - ・会話がスムーズにできているような場合でも、すべてが分かっているわけではありません。本人に、どこまで分かっているのかを確認することも必要です。
  - ・会話の十分な理解が、学習言語の習得や理解のための基礎ともなります。
- 学習指導については、国によって学習内容や指導内容が違うことがあるので留意しましょう。
- 算数の基礎的な計算ができるかどうかを確認しましょう。計算などは日本語がわからなくてもできることがあります。

#### 【取組例】

- 実力にあった宿題（ひらがな、漢字練習や四則計算など）を出して、毎日学習する習慣をつける。
- 授業中理解できない言葉があれば、ノート等に記させておいて、後で質問する習慣をつけさせる。

#### 【参 考】

- JSL カリキュラムを参考に授業を組み立てましょう。
- JSL カリキュラムについては活用支援サイトがあるので参考にしましょう。（参考資料【17】）



# Q & A

## Q1 学校から、毎日たくさんのお便りが保護者に渡されます。 日本語がほとんど読めない保護者にはどうすればいいですか？

- 翻訳文書を準備をしたりルビをつけたりしましょう。イラストも効果的です。多言語での文書を作成するにあたり参考となるサイトがありますので活用しましょう（参考資料【21】）。

## Q2 保健に関することで、配慮することはありますか？

- 保健室に多言語で書かれた体調を訴える言葉のプリントなどを用意するといいでしょ。う。（参考 「にほんごをまなぼう 教師用指導書」(文部科学省)、参考資料【3】【21】）
- 健康保険に加入していない家庭もありますので、確認しておきましょう。
- 独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度が適用されるケガや事故の場合は、健康保険に加入していない家庭でも治療費の一部が後で払い戻される場合があります。
- 尿検査、ぎょう虫検査、X線などは保護者も経験が無い場合があり、また、予防接種は国によって受ける年齢や回数などの違いがあるので留意しましょう。

## Q3 学校行事を伝える時に注意することは何でしょう？

- 主な学校行事は、事前に年間予定でお知らせしましょう。多言語で月間行事予定表を作成できるサイトがありますので、活用してください（参考資料【21】）。
- 学校行事は学習の一部であり、原則として全員が参加することを説明しましょう。なお、宿泊を伴う行事が無い国が多くあるので、内容や持ち物などをていねいに説明するなど留意しましょう。

## Q4 保護者懇談会や家庭訪問、個人懇談会で配慮することはありますか？

- 児童生徒に通訳をさせると趣旨が正しく伝わらないことがあります。日程を早めに決めて通訳者等の派遣を準備するなど、母語で正確に伝える工夫が大切です。

## Q5 転入してきた児童生徒の算数・数学の力を把握できる方法がありますか？

- 小学生の場合は、該当学年の基礎的な計算問題で確認しましょう。それが難しい場合は、領域別にスモールステップの計算問題で確認しましょう。
- 母国と日本を行き来している場合、一貫したカリキュラムで教育を受けていないために、学習内容にムラがあることがあるので留意しましょう。
- 中学生の場合は、正と負の数、因数分解、文字式、グラフの学習経験があるかどうかを把握しておいてください。出身国によっては、長さや量の単位が異なる場合もあります。単位が同じでも読み方が違っている場合もあるので、留意しましょう。

## Q6 中学校卒業後の進路について、保護者に説明する際に配慮することはありますか？

- 中学卒業後の進学・就職等進路の状況を正確に伝えましょう。
- 中学校の早い時期から進学情報を提供しましょう。
- 経済的な理由で進学を躊躇している場合は、必要に応じて奨学金制度の紹介をしましょう。
- 府立高校の入試では帰国・渡日生徒特別枠や特別配慮があるので、「進路選択に向けて」多言語版を活用し説明しましょう。 <http://www.pref.osaka.jp/jidoseitoshien/toniti/index.html>

## 参考資料

### 【1】 日本語教育教材「こんにちは」（大阪府教育センター）

日本語指導が必要な子どもを対象に、学校生活の場面、各教科につながる学習場面や教科内容について、その内容を理解しながら楽しく日本語の学習をすすめていくことをねらいに作成された学習教材です。

[http://www.osaka-c.ed.jp/kak/kyoka/konnichiha/konnichiha\\_001.htm](http://www.osaka-c.ed.jp/kak/kyoka/konnichiha/konnichiha_001.htm)

■ 市町村教育室 児童生徒支援課 事業一覧ページにあります、大阪府教育委員会の帰国・渡日児童生徒学校生活サポートのHPです。

### 【2】 多言語による学校生活サポート情報

大阪府の学校生活を送る上での多言語情報があります。

子ども向けと保護者向けに分かれています。(学習教材などはイラスト付で説明があります)

<http://www.pref.osaka.jp/jidoseitoshien/toniti/index.html>

### 【3】 多言語でお知らせ→く【2】の画面Teacher→学校でよく使用するお知らせの文例〉

学校から家庭に送られる各種の「お知らせ」を、いろいろな言語で紹介しています。

[http://www.pref.osaka.jp/kyoisityoson/jidoshien/shugaku/teacher/tabu\\_4.html](http://www.pref.osaka.jp/kyoisityoson/jidoshien/shugaku/teacher/tabu_4.html)

### 【4】 多言語版 小学校入学準備ガイドブック

日本の学校でどんな1日を過ごし、授業でどんな学習をするのか、入学にあたって何を準備したらよいか、などを説明しています。

<http://www.pref.osaka.jp/jidoseitoshien/tonitimae/index.html>

### 【5】 先生の役にたつサイト集

参考図書・各種教材が入手できるサイトや国際理解教育・異文化理解教育・在日外国人教育などの実践事例紹介サイト、各国教育事情などの情報提供サイトを紹介します。

<http://www.pref.osaka.jp/jidoseitoshien/toniti/toniti03.html>

### 【6】 高校の通学区域と学区にある高校紹介

[http://www.pref.osaka.jp/jidoseitoshien/toniti/j\\_c\\_01\\_09.html](http://www.pref.osaka.jp/jidoseitoshien/toniti/j_c_01_09.html)

### 【7】 公立高校受験の際の「配慮」について

[http://www.pref.osaka.jp/jidoseitoshien/toniti/toniti01\\_02.html](http://www.pref.osaka.jp/jidoseitoshien/toniti/toniti01_02.html)

### 【8】 中国帰国生徒及び外国人生徒入学者選抜

[http://www.pref.osaka.jp/jidoseitoshien/toniti/toniti01\\_03.html](http://www.pref.osaka.jp/jidoseitoshien/toniti/toniti01_03.html)

### 【9】 海外から帰国した生徒の入学者選抜

[http://www.pref.osaka.jp/jidoseitoshien/toniti/toniti01\\_04.html](http://www.pref.osaka.jp/jidoseitoshien/toniti/toniti01_04.html)

#### 【10】 多文化共生・教育サポートハンドブック

教育サポーター等が、学校で支援活動をする際に必要な日本の学校生活の様子やいろいろなしくみについてまとめています。

[http://www.pref.osaka.jp/attach/5277/00026479/asia\\_hand.pdf](http://www.pref.osaka.jp/attach/5277/00026479/asia_hand.pdf)

#### 【11】 大阪府/日本語教育学校支援事業

<http://www.pref.osaka.jp/jidoseitoshien/nihongo/index.html>

#### 【12】 大阪府日本語教育支援センター（ピアにほんご）

<http://pianihongo.org/>

#### 【13】 大阪府外国人相談コーナー（生活一般、就労・在留資格問題、医療相談、教育、児童相談等）

<http://www.pref.osaka.jp/jidoseitoshien/toniti/toniti05.html>

#### 【14】 おおさか識字・日本語センター

<http://www.call-jsl.jp/>

#### 【15】 「日本語教室」

OFIX のホームページから府内の日本語教室が検索できます。

<http://www.ofix.or.jp/life/top.html>

#### ■ その他、役に立つ資料

#### 【16】 多言語「就学ガイドブック」（文部科学省）

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/clarinet/003/001.htm#a09](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/003/001.htm#a09)

#### 【17】 こどものにほんご（文部科学省 JSLカリキュラム活用支援サイト）

<http://crie.u-gakugei.ac.jp/JSL/02report/02report.html>

#### 【18】 外務省 諸外国の学校情報→〈地域名→国情報〉

[http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/world\\_school/index.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/world_school/index.html)

#### 【19】 GCN OSAKA 5カ国語併記学校で使う用語集

<http://www.gcn-osaka.jp/japanese/eckssw/index.html>

#### 【20】 Kids Web Japan 日本の文化や学校、流行について多言語で説明

<http://web-japan.org/kidsweb/index.html>

#### 【21】 多言語学校プロジェクト（多言語での文書の作成を支援するサイト）

<http://www.tagengo-gakko.jp/>



教育委員会市町村教育室児童生徒支援課 平成22年3月発行  
〒540-8571 大阪市中央区大手前2丁目 / Tel.06 (6941) 0351 (代表)



大阪府教育委員会では、学校が家庭・地域と連携して、朝の生活習慣づくりを通して学習活動への意欲や姿勢をはぐくむ運動をすすめています。

